

**DH SYSTEM**

大日本塗料株式会社

商品番号 1821

エポニックスNCプライマー

1. 一般名 エポキシ樹脂下塗塗料 無溶剤形
 2. 規格 社内規格
 3. 特徴
 1) 無溶剤形でコンクリートへの浸透性が良好で付着性にすぐれている。
 2) 塗膜物性が良好である。
 3) 耐放射線性にすぐれている。

4. 塗料性状

項目		内容			
容姿		2液性			
荷姿		10 kg \times 2 (主剤: 8 kg、硬化剤: 2 kg)			
色相		白			
光沢		つや有り			
密度 (23°C)	塗料	1.25			
	揮発分	—			
加熱残分		—			
乾燥時間	温度	5°C	20°C	30°C	40°C
	指触	12時間	8時間	6時間	3時間
	半硬化	48時間	24時間	16時間	8時間
標準膜厚		30~50 μ m			
引火点		SDS参照			
発火点		SDS参照			
爆発限界(下限~上限)		SDS参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 塗装基準

項目		内容			
下地処理		ディスクサンダー処理 pH10以下、含水率5%以下(Kett HI-520)			
調合法		主剤: 80部、硬化剤: 20部(重量比)			
可使時間	5°C	20°C	30°C	40°C	
	60分	40分	20分	10分	
洗浄用シンナー		エポニックスシンナーB			
塗 装 法	塗装方法	刷毛塗り、ローラー塗り			
	希釈率	(原則として希釈しない)			
	標準使用量	0.20 kg/m ²			
	標準膜厚	吸い込み 50 μ m			
	ウェット管理膜厚	75 μ m			
塗装間隔	温度	5°C	20°C	30°C	40°C
	最小	48時間	24時間	16時間	8時間
	最大	10日	7日	7日	5日

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

6. 施工上の注意

- エポニックスNC床用及び壁用のプライマーとして使用する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
- 原則としてシンナー希釈はしないで使用する。
- 余り塗装間隔が長くなると密着不良を生ずることがあるので、必ず規定範囲内で塗り重ねを終了すること。尚、規定以上経過した場合は、塗膜表面をサンドペーパー或いはパワーブラシ等にて研磨し、ウェスにて拭いて調整してから塗装する。
- 使用量は、コンクリート表面の状態及び施工方法により大きく変動するので予め試験塗りして予量を確認する。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	指定可燃物	指定可燃物
有機溶剤区分	適用外	適用外
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	イソシアネート 24.0

ホルムアルデヒド放散等級: F☆☆☆☆

8. 使用上の注意 [警告]

- 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。